

歴史認識問題研究会役員名簿・活動概要等

歴史認識問題研究会役員名簿（平成29年4月1日現在）

会 長	：	西 岡 力	（モラロジー研究所歴史研究室室長・麗澤大学客員教授）
副 会 長	：	高 橋 史 朗	（明星大学特別教授・モラロジー研究所特任教授）
事 務 局 長	：	勝 岡 寛 次	（明星大学戦後教育史研究センター）
事 務 局	：	山 岡 鉄 秀	（モラロジー研究所歴史研究室研究員）
監 査	：	島 田 洋 一	（福井県立大学教授）
顧 問	：	伊 藤 隆	（東京大学名誉教授）
		櫻 井 よしこ	（ジャーナリスト）
		田 中 英 道	（東北大学名誉教授）
		渡 辺 利 夫	（拓殖大学学事顧問・前総長）

活動目標

- 1, 歴史認識問題の今日的状況の研究。歴史認識問題がいかなるプロセスで、どのような勢力により表面化し、拡散していったかについて、背景にある動きを含む体系的研究を行う。
- 2, 歴史的事実の実証的研究。歴史認識問題にまつわる日本非難に対して、当時の歴史的事実に基づく反論の材料を提供する。
- 3, 関係者の証言の整理、逸脱している関係資料の収集。
- 4, 公開シンポジウム・研究会の開催、研究誌『歴史認識問題研究』の発行。
- 5, 研究を土台にしたネット発信、英語による冊子発行、研究書英訳事業などの国際発信。必要に応じ、政府や関係機関などへの提言も行う。
- 6, 若手研究者と歴史教育実践者の育成を通じた歴史教育への貢献。

活動履歴（概要）

平成28年（2016）

9月30日 発足記者会見（日本記者クラブ）

10月 1日 歴史認識問題研究会（高橋史朗会長）正式発足

11月30日 発足記念シンポジウム（文京区民センター）

「歴史認識問題にどう立ち向かうか？」

基調講演：渡辺利夫

パネルディスカッション：渡辺利夫・高橋史朗・西岡力・杉田水脈

平成29年（2017）

4月 1日 会長、高橋史朗から西岡力に交代。

5月27日 第一回講演会（麗澤大学東京研究センター）

西岡力「韓国の左傾化の原因は従北反韓自虐史観だ！

—歴史認識を誤るのは亡国の道—

定期研究会開催記録

回	日時	講師(肩書)	テーマ
1	28. 9.16	高橋史朗 (明星大学特別教授)	歴史認識問題研究会発足の背景と緊急研究課題
2	28. 9.23	西岡 力 (東京基督教大学教授・当時)	歴史認識問題とは何か
3	28.10. 7	勝岡寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)	運動史から見た「女性国際戦犯法廷」
4	28.10.22	研究会有志	ユネスコ「世界の記憶」について
5	28.11.11	山本優美子 (なでしこアクション代表)	ユネスコ世界の記憶「慰安婦」申請の比較と問題点
		勝岡寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)	米軍の慰安婦尋問報告に対する、吉見義明と「なでしこアクション」の見解の相違 (補足資料)
6	28.11.25	川久保剛 (麗澤大学准教授)	国民としての自覚を育む市民教育の必要性
7	28.12.16	江崎道朗 (評論家)	アメリカ政治史と草の根保守
8	28.12.22	西岡 力 (東京基督教大学教授)	ソウル大学教授が「慰安婦性奴隷説」を全否定
		山本礼子 (戦後教育史研究者)	War Guilt Information Program (WGIP) に関する資料調査および最近の先行研究
9	29. 1.27	島田洋一 (福井県立大学教授)	日本はファシズム国家に非ず、共産中国こそファシズム国家だ
		久野 潤 (名城大学非常勤講師)	いわゆる靖国問題の突破口—人物を祀り顕彰してきた日本人
10	29. 2.17	山下英次 (大阪市立大学名誉教授)	「元寇」に関する偏向教育の源泉を探る —ここにもGHQ洗脳教育の痕跡
		篠原敏雄 (国士館大学教授)	「国家論からの『東京裁判』論の新展開
11	29. 3. 3	天児 都 (麻生徹男軍医の娘・写真資料管理者)	写真をめぐる人々とのやりとり —父・麻生徹男の資料写真の管理者としての三十年—
		柳田夕映 (柳田芙美緒写真室)	慰安婦の写真盗用問題
12	29. 3.17	田中英道 (東北大学名誉教授)	文科省の新学習指導要領の聖徳太子について
		勝岡寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)	『季刊戦争責任研究』の量的分析
13	29. 3.31	北村 稔 (立命館大学特任教授)	中国による歴史問題化のメカニズムと中国人強制連行問題をとりまく状況
		江崎道朗 (評論家)	中欧諸国では「ソ連・共産主義」はいかに語られているか
14	29. 4.14	山岡鉄秀 (モラルロジー研究所研究員)	北米—日系子女への苛めを否定する論理
		高橋史朗 (明星大学特別教授)	教育勅語論争に欠ける歴史認識 海外日本人子女へのいじめの実態と外務省調査
15	29. 5.12	緒賀正浩 (明星大学大学院)	教育勅語を巡る問題点
		田北真樹子 (産経新聞政治部記者)	産経新聞の歴史戦
16	29. 5.26	古森義久 (麗澤大学特別教授)	アメリカにおける歴史認識問題
		西岡 力 (本研究会会長)	韓国の新政権と従北自虐史観
17	29. 6. 9	八木秀次 (麗澤大学教授)	戦争プロパガンダの本質—国際社会を舞台にした倫理的優位性を勝ち取るための武器を使用しない戦争
		伊藤哲夫 (日本政策研究センター代表)	カイロ宣言の虚実
18	29. 6.23	伊藤 隆 (東京大学名誉教授)	いわゆる「歴史認識問題」についての私の考え
		Kevin Doak (Georgetown University教授)	アメリカの日本研究学者はなぜ日本を叩くのか？ "Why Do American Japanologists Bash Japan?"
19	29. 7.21	緒賀正浩 (明星大学大学院)	教育勅語を巡る問題点 (2)
		勝岡寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)	中国人慰安婦問題について
20	29. 8. 4	杉田水脈 (前衆議院議員)	国連における歴史戦、保守派民間団体の活動を中心に
		山本優美子 (なでしこアクション代表)	
		鄭 大均 (首都大学東京特任教授)	徴用工とは誰だったのか

インフォメーション・コーナー

第2回歴認研シンポジウム(告知)

日 時：平成29年9月26日(火) 午後6時30分～8時30分(午後6時開場)

場 所：文京区民センター

東京都文京区本郷4-15-14 TEL：03-3814-6731

最寄駅：都営三田線・大江戸線「春日駅」A2出口、徒歩2分

東京メトロ丸の内線「後楽園駅」4b出口、徒歩5分

東京メトロ南北線「後楽園駅」6番出口、徒歩5分

JR「水道橋駅」東口、徒歩15分

テーマ：「ユネスコ慰安婦登録を許すな——歴史認識問題の今」

登壇者

冒頭スピーチ・司会：櫻井よしこ(歴史認識問題研究会顧問・ジャーナリスト)

報告者：西岡 力(同会長・麗澤大学客員教授)

：高橋 史朗(同副会長・明星大学特別教授)

：山岡 鉄秀(モラロジー研究所歴史研究室研究員)

主 催：歴史認識問題研究会

資料代：1,000円

歴史認識問題に関する新刊書籍(2016年以降)

〈研究書〉

五百頭旗薫・小宮一夫・細谷雄一『戦後日本の歴史認識』東京大学出版会、2017

国際政治学会編『国際政治と歴史認識』有斐閣、2017

〈一般書〉

有馬哲夫『歴史問題の正解』新潮新書、2016

江崎道朗『アメリカ側から見た東京裁判史観の虚妄』祥伝社新書、2016

江崎道朗『コミンテルンの謀略と日本の敗戦』PHP新書、2017

岡崎久彦・渡辺利夫『中国は歴史に復讐される』扶桑社、2017(オンデマンド)

勝岡寛次監修・土屋たかゆき著『日本近現代史の真実』展転社、2017

ジェイソン・モーガン『アメリカはなぜ日本を見下すのか?』ワニブックス、2016

杉田水脈『慰安婦像を世界中に建てる日本人たち』産経新聞出版、2017

高橋史朗『「日本を解体する」戦争プロパガンダの現在』宝島社、2016

中西輝政・西岡力『なぜニッポンは歴史戦に負け続けるのか?』日本実業出版社、2016

藤岡信勝編著『国連が世界に広めた「慰安婦＝性奴隷」の嘘』自由社、2016

マイケルヨン・杉田水脈・高橋史朗・西岡力・徳永信一・山岡鉄秀「慰安婦」謀略戦に立ち向かえ!』明成社、2017

山岡鉄秀『日本よ、もう謝るな!』飛鳥新社、2017